

Book Review



Dental Start Book これで解決！ 齲蝕治療・トゥースウェア

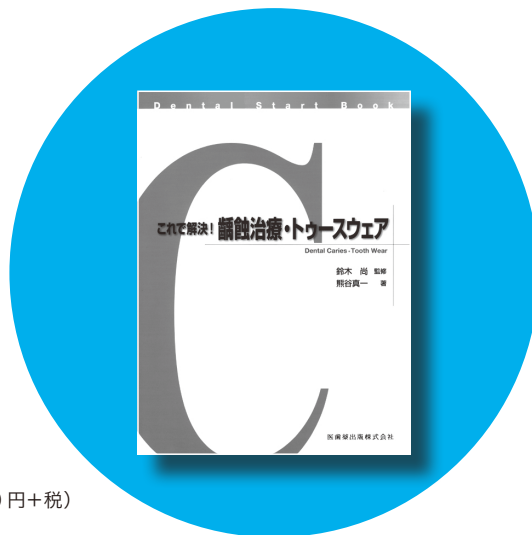
鈴木 尚 監修／熊谷真一 著



Reviewer

齋田寛之 Hiroyuki Saida
(東京都・斉田歯科医院)

A4 判変, 128 頁
定価 (本体 6,200 円+税)
医歯薬出版刊



私は今年で卒後 12 年目になる。歯科臨床における大体のことはできるようになっているし、新しいことに関しても、勉強会や講習会でそこそこアップデートしてきているつもりである。毎月発刊される多くの雑誌、書籍にも目を通してはいるし、論文もたまに読む。

しかし、それらの知識は断片的であり、まとまったものではない。卒後 10 年前後になると経験がプラスされるのでそれでも身になっていくものだが、卒直後はそのような知識の入れ方では薄っぺらいものになり、実際の臨床で応用が効かない。卒直後はまとまった知識の取得が不可欠であり、私も振り返ってみるとそのような知識の習得は時間に余裕があった 3 年目くらいで終わっている。言い換えてみれば、現在も多くの知識のベースとなっているのは 3 年目くらいまでに習得したものであり、卒直後の知識の習得がいかに重要であったかということに、今になって気づく。

私が卒業した頃には、“BASIC” シリーズ (1~5, Basic periodontics1,2) があって、凄まじくレベルの高い BASIC を少しでも身につけようと、必

死に読んだのを覚えている。

本シリーズは、その BASIC の現在版だと聞いた。すばらしい著者陣に、内容も大幅にアップデートされ、卒直後の人、またこれから卒業する人には必読の書となるであろう。

卒直後の歯科医師のための本…そう思ってこの本を開くと、みごとに裏切られる。もちろん、齲蝕治療をトータルに学ぶのに、十分すぎる知識とテクニックが網羅され、それでいて臨床写真がとて多く非常に読みやすいので、卒直後の方にとっては手放せないものになることは間違いない。

しかしそれだけでなく、知識やテクニックに裏づけられる理論的背景が詳細に記載されており、臨床経験を積んだ方にとっても、多くの新しい発見が得られる構成となっている。

それでいて、守備範囲が非常に広い。齲蝕の基礎知識から診断、テクニック、解剖学にまで言及している。そして接着の基礎知識からさまざまな接着システムの背景・理論、コンポジットレジン of 材料学、コンポジットレジン充填のテクニックと続く。

普通の齲蝕治療の本であれば、これ

で終わりである。この本の凄さはここからである。

改めて知るグラスアイオノマーセメントの特徴、適応症、テクニックを詳細に解説し、その後メタルインレー・アンレーの判断基準、形成など補綴の話につながり、コンポジットレジンインレー・セラミックインレーの形成、仮封についてまで言及している。

そしてさらに、高齢化社会になった現在避けては通れないトゥースウェア、知覚過敏、根面齲蝕の原因、理論背景と対応について、症例を通して解説してくれている。ここまで体系だって網羅してくれている齲蝕治療の本を私は見たことがない。これら文章だけでなく、全 100 症例にわたる症例写真で解説しているところも特筆すべき点であろう。視覚的で非常に理解しやすい。

臨床に携わっていて齲蝕治療に触れない日はなく、歯科臨床の根幹をなしている分野の一つである。卒直後の方はもちろんのこと、歯科臨床に日々携わっている中堅、ベテランの先生方にもぜひ手に取っていただきたい一冊である。